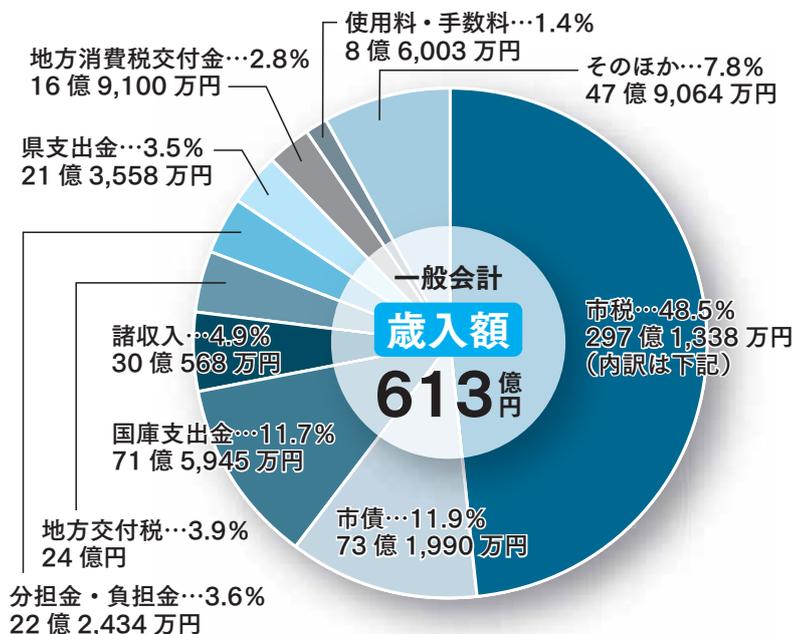


一般会計は613億円

平成24年度予算案が3月定例会市議会で3月23日、可決されました。一般会計は613億円で、前年度と比較すると15億円(2.4%)の減額。特別会計と水道事業会計を合わせた予算総額は850億6,622万円となり、前年度より15億2,316万円(1.8%)の減額となっています。



歳入

市税(全体の48.5%)は297億1,338万円で、前年度と比較すると4億558万円の減収となっています。市債(同11.9%)は73億1,990万円で、3億5,210万円の減額。国庫支出金(同11.7%)は71億5,945万円となり、9億6,968万円の減額となっています。

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳はイラストが示す通りです。これを市民1人当たりで換算すると約23万4,000円となります(市税予算額(297億1,338万円)÷平成24年2月末日現在人口(12万7,009人))。

●市税の内訳

- 固定資産税** 185億8,180万円
- 個人市民税** 74億4,960万円
- 法人市民税** 22億3,658万円
- 市たばこ税** 10億4,624万円
- 都市計画税** 1億9,444万円
- その他(軽自動車税など)** 2億472万円

現在、国内では、東日本大震災からの復興への取り組みが官民を挙げて進められ、生産活動が回復しつつある一方、福島第一原子力発電所の事故や海外景気の低迷の影響に加え、為替レートや株価の変動などの下振れリスクが存在しており、デフレや雇用情勢の悪化が依然として懸念されています。市の財政状況は、健全性を保っているものの、震災などの影響による成田空港の航空需要の落ち込み、観光客の減少、雇用の低迷など、今後の財政運営に不安定な要因を抱えています。

社会保障費などが増加傾向にあるり、また大規模事業の進行に伴う多大な財政負担が見込まれますが、市民へのサービス向上を第一に、空港対策、少子・高齢化対策、地域医療対策、地域経済対策などの課題に積極的に取り組んでいかなくてはなりません。

平成24年度は、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」というスローガンのもとに、「次世代に誇れる空の港町」生涯を完結できるまち」を創造するため、「総合5か年計画2011」における事業計画を着実に遂行し、次世代に過度の財政負担をかけないように、より一層の経費節減を図るとともに、市民ニーズを的確に反映した予算編成に努めました。

特別会計

205億4,252万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計です。市では、次の7会計を設けています。

- ①国民健康保険…………… 118億1,168万円
(事業勘定) …………… (116億4,300万円)
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。
(施設勘定) …………… (1億6,868万円)
医療サービス向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し診療を行います。
- ②下水道事業…………… 20億6,907万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ります。
- ③公設地方卸売市場…………… 2億989万円
青果物、水産物、生鮮食品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。

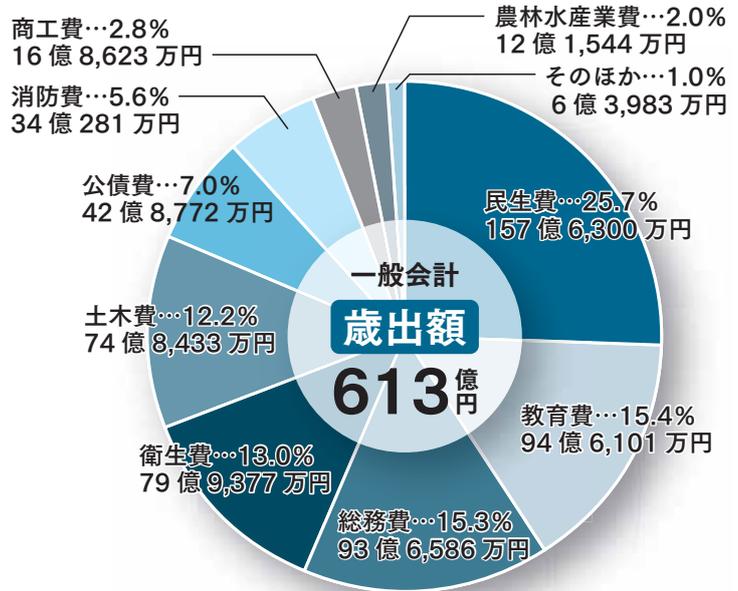


- ④介護保険…………… 51億2,568万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- ⑤農業集落排水事業…………… 1億6,423万円
下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- ⑥後期高齢者医療…………… 8億267万円
後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の引き渡しなどを行います。
- ⑦簡易水道事業…………… 3億5,930万円
下総・大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

企業(水道事業)会計

32億2,370万円

企業会計として「水道事業会計」があります。
 水道事業収益(収益的収入) 19億4,942万円
 水道事業支出(収益的支出) 18億3,667万円
 資本的収入……………5億9,007万円
 資本的支出…………… 13億8,703万円



歳出

歳出の目的別分類では、民生費が前年度比4億3,444万円増の157億6,300万円(全体の25.7%)でトップとなっていて、子どものための手当・子ども手当支給事業、保育園運営事業、福祉手当・見舞金支給事業などに充てられます。2番目は教育費で、前年度比2億9,160万円増の94億6,101万円(同15.4%)となっていて、公津の杜中学校建設事業、運動公園等整備事業、英語科研究開発事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比13億9,494万円増の93億6,586万円(同15.3%)となっていて、公津の杜複合施設整備事業、コミュニティバス運行事業、航空機騒音地域補助事業などに充てられます。

市民1人当たり48万円使われます

市民の皆さんに今年度いくら使われる予定かを、イラストで示してみました。市民1人当たり約48万3,000円となります(一般会計当初予算額(613億円)÷平成24年2月末日現在人口(12万7,009人))。

●市民1人当たりの歳出の内訳



民生費…12.4万円



教育費…7.4万円

総務費…7.4万円

衛生費…6.3万円

土木費…5.9万円

公債費…3.4万円

消防費…2.7万円

商工費…1.3万円

農林水産業費…1万円

その他…0.5万円

の港町を目指して

- ・子どものための手当・子ども手当支給事業
..... 22億7,561万円
- ・こども発達支援センター整備事業 9,500万円
- ・予防接種事業 3億1,195万円

市民が地域文化を愛し、次代を担う 心豊かな人材を育む

- ・吾妻小学校増築事業 2,150万円
吾妻小学校の増築工事を行う。平成24年度は、プレハブ校舎の建設と増築工事の設計を行う。
- ・医科系大学誘致事業 3,000万円
- ・小中学校連携教育推進事業 78万円
- ・英語科研究開発事業 1億6,593万円
- ・個性を生かす教育推進事業 1億6,138万円
- ・下総小学校建設事業 4億1,017万円
- ・公津の杜中学校建設事業 25億4,315万円
- ・私立幼稚園就園奨励費補助事業 1億6,508万円
- ・家庭教育学級開催事業 815万円
- ・公民館大規模改修事業 430万円
- ・図書整備事業 1億7,623万円
- ・ふれあいコンサート開催事業 94万円
- ・スポーツ広場等整備事業 1億7,748万円



- ・運動公園等整備事業 4億9,882万円
- ・学校給食施設整備事業 3,043万円

市民が安全、安心、快適に暮らせる 生活環境をつくる

- ・防災用品備蓄事業 1,036万円
大規模災害時に必要不可欠な物資を備蓄する。アレルギーに配慮した食糧品などを備蓄する。
- ・空気調和機器更新工事補助事業 3,274万円
騒音下民家防音工事時に設置した空気調和機器について、

- 1、2回目に加え、新たに3回目の更新工事に対し補助する。
- ・民間建築物吹付けアスベスト対策事業 290万円
吹付けアスベストの除去を促進するため、建築物の所有者にアスベストの分析調査・除去費用を補助する。
- ・小学校太陽光発電導入事業 5,690万円
公津の杜小学校と久住小学校に、太陽光発電設備を整備する。
- ・地域防災計画策定事業 800万円
- ・災害復興支援事業 8,657万円
- ・地域安全対策事業 2,219万円
- ・駅前番所事業 2,862万円
- ・航空機騒音地域補助事業 1億6,165万円
- ・民家防音家屋等維持管理費補助事業 6億4,504万円
- ・いずみ聖地公園拡張整備事業 9,600万円



- ・公害調査事業 4,157万円
- ・いずみ清掃工場維持管理事業 6億2,599万円
- ・新清掃工場整備事業 28億1,451万円
- ・新清掃工場関連付帯施設整備事業 2,013万円
- ・生活道路整備事業 6億6,411万円
- ・消防庁舎整備事業 6億5,440万円
- ・共同指令センター運用事業 2億8,098万円

市民と行政が協働する効率的な 自治体運営を行う

- ・庁舎改修事業 1億2,754万円
- ・公津の杜複合施設整備事業 20億8,854万円
- ・まちづくり推進調査事業 494万円
- ・公共施設白書作成事業 1,000万円

※予算書は、行政資料室(市役所1階)、市立図書館で閲覧できます。財政課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/zaisei/>)でも公開しています。くわしくは同課(☎20-1512)へ。

世界との交流拠点として市民が誇れる都市をつくる

- 土地利用方針策定事業 …………… 997万円
市街化調整区域の土地利用方針と運用基準を策定する。
- コミュニティバス運行事業 …………… 1億2,636万円
- 成田ブランド構築事業 …………… 4,508万円
- 幹線道路整備事業 …………… 5億7,622万円
- 景観計画策定事業 …………… 1,024万円
- JR・京成成田駅中央口地区整備事業 …… 25億6,995万円
- 表参道整備事業 …………… 2億3,691万円
- ニュータウン中央線整備事業 …………… 5億6,300万円
- 住区基幹公園整備事業 …………… 4,151万円

市民がいきいき働く活力ある産業を育てる

- 企業誘致事業 …………… 1億5,779万円
企業誘致対象区域を設け、奨励措置を講じることで、工場や事業所の新設を促進する。
- 観光に関する経費 …………… 1,620万円
観光施設の管理、観光関連事業への補助に加え、新たにウォーキング大会「成田エアポートツーデーマーチ」を開催する。
- さくらの山観光物産館整備事業 …………… 1,940万円
さくらの山に、観光情報・物産コーナーなどを備えた観光物産館を整備する。

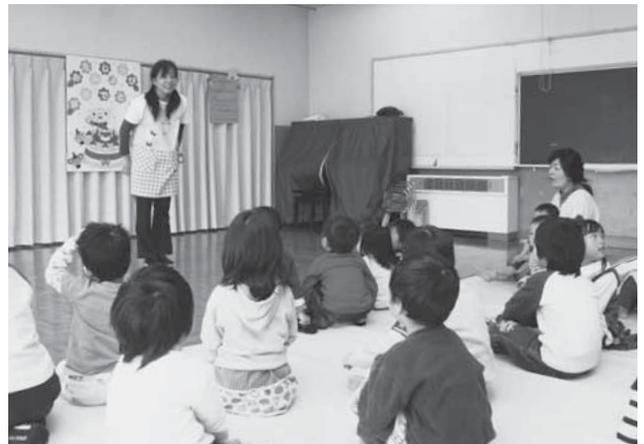


- 国際観光振興事業 …………… 1,202万円
関係機関と連携し、外国人観光客や各種コンベンションの誘致を図る。外国人団体旅行を実施する旅行会社に補助を行い、観光客数の回復を目指す。
- 緊急雇用創出事業 …………… 1,130万円
- 水田農業構造改革対策事業 …………… 1億1,357万円

- 農道整備事業 …………… 1億3,306万円
- 排水路整備事業 …………… 1億5,761万円
- 中小企業資金融資事業 …………… 10億7,604万円
- 観光PR事業 …………… 2,223万円

市民一人ひとりの健康で生きがいを持った生活をささえる

- 児童ホーム整備事業 …………… 7,953万円
新設される小学校などに児童ホームを建設する。
- 子どもショートステイ事業 …………… 8万円
児童養護施設などに事業を委託して、病気などで子どもの養育に当たれない保護者を支援する。
- 養育支援訪問事業 …………… 19万円
不適切な養育状態で虐待の恐れなどがある家庭に、ヘルパーを派遣して家庭環境を改善する。
- 保育園整備事業 …………… 8,240万円
大規模改修を行うニュータウン内の保育園の代替施設として、仮設園舎を建設する。



- 認可外保育施設利用者補助事業 …………… 500万円
認可外保育施設を利用する保護者に対し、保育料を補助する。認可外保育施設が行う健康診断の費用を補助する。
- 地域医療対策事業 …………… 1億9,841万円
救急医療体制を維持するため、関係機関に対して負担金を交付する。成田赤十字病院が行う医療機器の整備費を補助する。
- 母子保健事業 …………… 1億7,270万円
妊婦や乳幼児健診に加え、保育園や幼稚園に通っていない5歳相当児を対象とした健診を行う。
- 住宅手当緊急特別措置事業 …………… 1,294万円
- 福祉手当・見舞金支給事業 …………… 3億4,905万円
- 障害者施設利用支援事業 …………… 8億7,471万円
- オンデマンド交通高齢者移送サービス事業 …… 3,258万円
- 子ども医療費助成事業 …………… 4億4,017万円